国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

南伊勢町
Minamiise Town

令和８年１１月１８日
中部地方整備局建政部

三重県内で初の国土交通大臣賞を受賞！

～令和８年度「地域づくり表彰」の表彰状授与式を開催します～

- 地域づくり表彰とは、創意工夫を活かした優れた自主的活動等を基本とする地域づくりを通して、地域の活性化に顕著な功績のあった優良事例を表彰し、広報する事業です。
- 昭和 59 年より実施し、今年で 43 回目の表彰となり、地域づくりに関する表彰制度としては最も古いものの１つです。
- 今年度は、全国各地の 54 団体から応募があり、９団体の取組が表彰されることとなり、三重県南伊勢町で活動する南伊勢町二地域居住推進チームが、三重県内では初の国土交通大臣賞を受賞することとなりました。（参考資料）
- この功績を表彰するため、下記のとおり授与式を開催し、中部地方整備局建政部長から表彰状を授与します。

１．授与式

１）日　時：令和８年 12 月３日（木）９：４５～１０：１５

２）場　所：三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦 941-15　南伊勢　暮らしの案内所/カフェ(別添１)

２．取材申込

１２月１日（火）までに、以下 URL の申請フォームもしくは QR コードから取材登録をお願いします。

https://forms.cloud.microsoft/r/zFyNuqPq39

３．配布先

中部地方整備局記者クラブ、三重県政記者クラブ・第二県政記者クラブ

【問い合わせ先】

＜地域づくり表彰について＞

中部地方整備局　建政部計画管理課　課　　長　乾　昂行（いぬい　たかゆき）

課長補佐　赤井　淳（あかい　あつし）

TEL：052-953-8571　　FAX：052-953-8605

＜受賞団体、授与式について＞

南伊勢町役場　まちづくり推進課　政策係長　小山　将彦（こやま　まさひこ）

TEL：0599-66-1366　　FAX：0599-66-1846

【別添１：授与式会場へのアクセス】

◆南伊勢　暮らしの案内所/カフェ：三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦 941-15

お車でお越しの方

・大阪市内から

阪神高速・西名阪自動車道を経由し、伊勢自動車道「伊勢西IC」へ。
国道260号線を南伊勢町方面へ進み、約2時間30分で着きます。

・名古屋から

東名阪自動車道から伊勢自動車道「玉城インター」へ。国道260号線
を南伊勢町方面へ進み、約2時間で着きます。

・伊勢神宮から

県道260号線を南伊勢町方面へ。約50分で着きます。

公共交通機関でお越しの方

近鉄「宇治山田駅」から三重交通バス「五ヶ所方面行」に乗車。「五ヶ所」で降りて徒歩約20秒でうみべのいえリビングに着きます。

・名古屋駅からうみべのいえリビングまで

名古屋駅
JR快速 みえ・特急（約1時間30分）
または
近鉄特急（約1時間40分）
宇治山田駅
三重交通バス（約50分）
五ヶ所バスセンターバス停下車
徒歩（約20秒）
うみべのいえリビング



（出典：国土地理院地図）



（出典：国土地理院地図）

＜参考資料＞

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和8年10月27日
国土政策局地方政策課

市原市・南伊勢町・佐世保市の地域づくり3事例が「国土交通大臣賞」を受賞

～「新時代に地域力をつなぐ国土」を体現する9団体を令和8年度「地域づくり表彰」受賞団体に決定～

国土交通省は、関係団体との共催・後援で、創意・工夫ある「地域づくり」の優良事例を表彰する**「地域づくり表彰」**を、昭和59(1984)年以来、実施してきており、今年が43回目となります。
今年度も、全国各地より、数多くの個性豊かな事例を推薦いただき、有識者・学識者等による厳正な審査の結果、優良な9事例について、**「国土交通大臣賞」**等で表彰することとしました。

受賞した各活動は、国土づくりの目標として**「新時代に地域力をつなぐ国土」**を掲げた**「第三次国土形成計画」にも呼応するもの**で、**「持続可能な生活圏の再構築」**や、**「地域を支える人材の確保・育成」**といった重要施策の**先進的取組事例**と言えます。

各活動には、受賞を契機に更なる活発な活動の展開を、また、全国各地の皆様には、各事例をご参照いただき、地域の課題の克服や魅力の向上に向けた取組の更なる進展を期待しています。

○ 主 催：国土交通省、 全国地域づくり推進協議会*1、
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム*2、一般財団法人 国土計画協会
後 援：株式会社 日本政策投資銀行

○ 今年度は、全国各地から**54団体**が推薦され(昨年度32団体)、うち**9団体**(昨年度10団体)を表彰
○ 各団体の取組の詳細や表彰の様子等は、国土交通省サイト及び特設サイト(※)で紹介されます
(※)「地域づくり表彰」特設サイト(一般財団法人 国土計画協会) https://www.chiikizukuri.kok.or.jp/

表彰名	受賞団体名または活動名の略称（推薦者） （全国地方公共団体コード順）
国土交通大臣賞	**ウエルコミ**（ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら）**（千葉県市原市）**
	南伊勢町 二地域居住推進チーム（三重県南伊勢町）
	Sasebo Change（サセボチェンジ）**（長崎県佐世保市）**
全国地域づくり推進協議会 会長賞	山立会（石川県白山市）
	地域維持レスキュー®（和歌山県有田川町）
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞	三島信用金庫・合同会社うさぎ企画（静岡県三島市）
国土計画協会会長賞	青海ボランティア隊（愛知県常滑市）
日本政策投資銀行賞	水没林ワーキング（山形県飯豊町）
地域づくり表彰審査会 特別賞	広島地区活性化協議会（香川県丸亀市）

*1:「全国地域づくり推進協議会」は、地域づくり活動の発展・拡大に資することを目的とした地方公共団体からなる協議会
*2:「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム」は、二地域居住を促進する官民の協議会
○ それぞれの表彰式の日時・場所等は、各自治体(別添資料3参照)にお問合せください

「地域づくり表彰」の詳細、過去の事例については
地域づくり表彰 で検索を

【問合せ先】
国土政策局 地方政策課 渡部、馬場
代表:03-5253-8111(内線29-404、29-422)
直通:03-5253-8363

別添資料１

令和８年度「地域づくり表彰」審査会
委 員 名 簿

（〇は座長、敬称略）

（有識者委員）

（五十音順）

	伊藤 聡子（いとう さとこ）	キャスター、事業創造大学院大学 客員教授
○	坂田 一郎（さかた いちろう）	東京大学　執行役･副学長 （バイスプロボスト（学術経営）） 兼 工学系研究科 教授
	三瓶 裕美（さんぺ ひろみ）	「つちのと舎」代表、総務省地域力創造アドバイザー、 地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員
	瀬田 史彦（せた ふみひこ）	東京大学大学院 工学系研究科 准教授
	中島 みき（なかじま）	面白法人カヤック 執行役員 （ちいき資本主義事業担当）
	堀口 正裕（ほりぐち まさひろ）	株式会社 第一プログレス 代表取締役社長 兼「ＴＵＲＮＳ」プロデューサー

（共催・後援者委員）

（順不同）

	宮川 政夫（みやかわ まさお）	全国地域づくり推進協議会 副会長（棚倉（たなぐら）町長）
	平山 浩之（ひらやま ひろゆき）	全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム 共同代表代理（那須町（なすまち）副町長）
	小善 真司（しょうぜん しんじ）	一般財団法人 国土計画協会 専務理事
	原田 文代（はらだ ふみよ）	株式会社 日本政策投資銀行 取締役常務執行役員
	髙本 仁（たかもと ひとし）	国土交通省 国土政策局 地方政策課長

以上

別添資料2

令和8年度「地域づくり表彰」 審査後の総評

今年度の「地域づくり表彰」も、全国各地からユニークで多様な実践例が寄せられた。人口減少や高齢化、担い手不足、獣害、離島性、公共サービスの縮減など、地域を取り巻く課題は年ごとに複雑化している。しかし、今年の推薦事例は、そうした逆風を「**単なる困りごと**」として留めず、「**新たな価値創造の契機**」として、**楽しさややり甲斐とともに**実現したい、という意志に満ちあふれていた。

審査を通じて感じたことを、全国の地域づくり関係者の皆様へのメッセージとして、五つの観点から述べたい。

Ⅰ 課題を直視する力が、地域づくりの出発点である ： 課題の正確な言語化はチカラになる

今年度の事例の特徴は「何に困っているのか」が明確で、優れた事例ほど、その課題を曖昧には語らなかった。「観光客が増えすぎて困る」、「地域に刺激を与えてくれる人が必要」、「山椒を収穫する手が足りない」、「地域の困りごとの相談が無くなった」「新幹線駅があり移住するには東京が近すぎる」等々。

出発点となる課題が具体的で、だからこそ、取るべき行動も明確になり、人々を巻き込むことができた。

困りごとを正確に言語化できた活動ほど、次の一歩が見えてくる、ということを改めて感じた。

Ⅱ 人を動かすのは「コンセプト」と「仕組み」の組み合わせである ： 活動を回す車輪について

では課題は見えた。しかし、それだけでは人は動かない。次の動きを産むのはいったい何なのか。

今年の受賞事例では、**課題に対して魅力的なコンセプトと言葉が与えられていた**ことが印象的だった。「”不満”を”誇り”に」「ワン・ジビエ」「まちの部屋」「地域維持レスキュー」など、それぞれの活動には、人々が理解しやすく共感しやすい「フレーズ」と「物語」があり、「参加したくなる世界観」が提示されていたように感じた。

さらに重要なのは、それが**理念だけに終わっていない**ことである。 シェアキッチン、ドラッグストア内の交流拠点、高校生と地域をつなぐ仕組み、副業人材のマッチング、観光収益を地域保全へ循環させる仕組みなど、それぞれのコンセプトを**実装する、具体的な制度や運営体制**を積み上げていったことが成果へと繋がっていた。

優れた地域づくりは、「共感できる物語」と「実際に物語を動かす仕組み」が 両輪となっている。

Ⅲ 持続可能性の鍵は、「個人・属人」から「チーム」への進化にある ： 一夜の花火で終わらないために

審査会で繰り返し議論されたのが「**持続可能性**」であった。これまでの「地域づくり」の現場には、「この人がいるから成り立つ」という事例が少なくなかった。しかし今年度は、それを乗り越えようとする取組が数多く見られた。

高校生が始めた活動を**法人化**し次世代へ引き継ごうという取組、 **中間支援団体を核とした**行政・企業・住民（団体）の多者連携、 **移住者・二地域居住者「自身が」担い手となる**移住促進の仕組みなど、発端となった一人や少人数の熱意を、組織やチームの力へと転換する努力が随所に見られた。

もちろん、情熱あるリーダーの存在は依然として重要である。しかし、これからの時代に求められるのは、リーダーの背中に続く人材を意識して育てること、そして誰かが抜けても回り続ける構造をつくることである。

今年の事例からは、地域づくりが「属人モデル」から「チームモデル」へと進化しつつあることが感じられた。

Ⅳ 地域の未来を広げるのは、専門性のある多様な主体との連携である ： 企業・金融・大学・農家・漁師等

今回、審査会が注目したのは、企業・金融・大学、副業人材、関係人口等、拡大する多様な主体の連携であった。

企業との連携は、もはや寄附や協賛の段階ではない。地域課題の解決そのものに**企業自身が参画**し、**企業側も学びや価値を得る関係**が生まれている。また、移住や二地域居住の分野では、副業人材や地域外人材が地域に新たな視点を持ち込み、地域も**事業継承を含め**それを受け止める力が培われてきている様子が見られた。

結果、外部人材を「お客様」ではなく、次の動きの継承・成長の担い手として迎え入れている事例が多かった。

「地域づくり」は、もはや地域住民のみでは担いきれない・完結しない一方で、外部依存でも長続きしない。

内と外が相互に刺激しあった協働で、新たな展開や価値を生み出す姿が見られたことが、今年の特徴と言える。

Ⅴ これからの地域づくりを支える「公共の魅力」 ： 公共を担うことの楽しさ・嬉しさ・やりがい

最後に、本年度の審査を通じて最も強く感じたこと。それは**「公共の魅力」の再発見**である。

報酬も無いのに、**なぜ多くの人が地域づくりに関わるのか。** そこには、**地域のために働くこと、人の役に立つこと、自分の力が地域の未来につながることへの喜び**がある。 そこに**「楽しい」「面白い」「やりたい」「うれしい」「誇らしい」**が生まれ加わっていく。 今年の発表者の方々が繰り返し説かれた、こうした組合せこそが活動の原動力だった。 どれほど優れた制度や事業でも、人の心が動かなければ長続きしないし、意義や意味が感じられれば、更なる活動への意欲も高まる。 本年度の応募事例は、**「公共の魅力」を実践を通じて見せてくれた**と思う。

地域づくりとは、地域課題の解決であると同時に、公共を通じ人々が誇りや生きがいを見つける営みでもある。

今回の受賞団体をはじめとする全国の挑戦が、次の地域づくりの時代を切り拓いていくことを期待したい。

令和8年度「地域づくり表彰」審査会 座長　　坂 田 一 郎（東京大学 執行役・副学長）

別添資料３

国土交通大臣賞　（総合的に最も優れた取組）　３事例　（全国地方公共団体コード順）

ウエルコミ（ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら）（千葉県市原市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**ドラッグストア発 公民連携型の市民活動・地域共創拠点**

ドラッグストアの遊休スペースを活用し、市・企業・中間支援団体のNPO法人との三者協働により運営される地域交流拠点。市民活動支援センターの廃止で失われた中間支援機能を、日常の買物動線上で再構築。学び・交流・健康・市民活動等の**「場の提供」だけでなく、市民団体・企業・行政をつなぐコーディネート機能も担う**。ここでは、子育て支援、高齢者の健康づくり、居場所づくり等多様な活動が展開され、近年は**子どもの第三の居場所**「ウエルキャン」「居場所フェスタ」、**シニアの地域参加**を促す「グランパフェスタ」、「チバニアン」や化石等の**地域資源を活かした学びの場**等、**多世代交流型の新たな出会いや繋がり**を生み出している。その結果、住民どうしや活動団体・企業・大学・行政等が相互に繋がれ、ここ発の新たな活動や協働が生まれている。


こどもの居場所フェスタ

●選定理由●　**場の提供だけでなく、つながりと出会い創出の仲介役の存在に注目**

「企業が空きスペースを提供する」という事例は各地で多数の事例があるが　本取組は、中間支援団体が、企業・市民団体・行政・大学を有機的に結び付ける**「つながりの編集者」**となり、**新しい出会いと活動の苗床機能**を担い、例えば子どもの居場所づくり団体が、ほぼゼロから44団体超へ増加する等、実績も出ている。日常空間である薬局の敷居の低さを利して、市民活動の裾野を広げながら、多様な主体が継続的に関わる仕組みが構築されている。

本事例は、都市部・郊外・農村部によらず全国各地で、かつ他業態での展開の可能性も見込まれる先進的なモデルといえ、様々な形での各地の展開も期待したい。


フェスタでの　こども薬剤師体験

■問合せ先■　市原市　市民生活部　地域連携推進室　　☎ 0436-23-9998（室直通）

南伊勢町（みなみいせちょう）　二地域居住推進チーム（三重県南伊勢町）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**まちを ひとつの家に見立てた 多層的な関係人口創出モデル**

南伊勢町二地域居住推進チームは、**「まちを一つの家に見立てる」という独自の発想**のもと、地域外の人が南伊勢町と継続的に繋がりながら役割を担う仕組みを育てている取組である。電車の通らない沿岸・半島地域という条件下で、空き家を再生した**「うみべのいえ」**を拠点に、**キッチン、リビング、クローゼット、アトリエ**などの**機能を分散配置**し、関係人口や二地域居住者の活動拠点として活用している。また、移住者支援を担う地域法人、漁業人材育成団体、地域の関係人口コミュニティ、行政が連携し、漁業、観光、創業、地域活動など**多様な入口を用意**。人を定住へ誘導するのではなく、**その人に合った暮らし方や関わり方を提案しながら**、地域との関係を育んでいる。


漁師になるキッカケを作る漁師塾

●選定理由●　**この町を好きになり、自分もこの町の一員だと思える人を増やす取組に重点**

本取組の最大の特徴は、**二地域居住を**、「移住の前段階」ではなく、**「地域に新たな担い手を生み出す仕組み」として積極的に位置付け**ている点にある。まず地域への「入口」をいくつも作り、そこから仕事や地域との関係を繋いでいくことで、町への関わりの深化を導いている。

その結果、ふるさとワーキングホリデー参加者の再訪や、漁業研修を経た就業者の誕生、空き家を活用した事業創出などの成果を生んでいる。本事例は海を中心とした仕事・暮らし・交流を一体的に支える仕組みだが、臨海地区に限らず人口減少が進む各地でも同様の展開が可能と思われる。


起業と交流の拠点「うみべのいえ」

■問合せ先■　南伊勢町　まちづくり推進課　☎ 0599-66-1366（課直通）

Sasebo Change (サセボチェンジ)（長崎県佐世保市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**高校生が創出した 佐世保の未来**

「Sasebo Change（サセボチェンジ）」は、若者が地域や社会との接点を広げながら、自ら地域課題の解決や新たな価値創出に挑戦する**若者主導の地域共創コミュニティ**。高校生有志の学校横断型の活動として始まり、日米高校生交流、英語プラネタリウム、高校生による地元鉄道の活性化企画、高齢者との交流やボランティア活動などを通じ、若者が地域社会の中で実践的な挑戦を重ねている。さらに、**高校卒業後もOB・OGがオンラインや帰省時に活動を支援し、中間支援組織の設立**や**高校生ボランティア養成講座**の実施へと発展した。現在は高校生、卒業生、社会人がそれぞれの立場で関わり続ける**世代横断型の地域共創コミュニティへと成長**している。


日米高校生の合同イベント

●選定理由●　**高校生発の挑戦を次世代へ受け継ぐ：楽しさを起点に地域への愛着を生む**

本取組の優れた点は、創意と元気あふれる高校生の活動だけでなく、そこから得られた経験やネットワークを**卒業後も地域に蓄積・継承し、次の世代へ引き継ぐ仕組みを構築した点**にある。

若者自身の興味や、挑戦したい気持ちを出発点としながら、地域や社会との接点を広げ、**地域への愛着や主体性を育んでいる**。また、高校生、OB・OG、社会人伴走者、行政、地域団体がそれぞれの立場で支え合い、若者の成長と地域との関わりが循環する構造を形成し、**一過性になりがちな若者主体の活動を、持続可能な人材育成の仕組みへ発展**させ、**若者のやる気と成長を中核に、地域との関わりが循環する構造**を生み出している。若者を地域づくりの担い手とした実践は各地にあるが、**卒業後も持続する仕組みの模索と工夫**は、多くの地域に示唆を与える取組として評価したい。


敬老会で交流する高校生

■問合せ先■　佐世保市　地域未来共創部　若者活躍・未来づくり課　　☎ 0956-37-8590（課直通）

全国地域づくり推進協議会会長賞（地域活性化の観点で優れた取組） ２事例（全国地方公共団体コード順）

山立会（やまだちかい）（石川県白山市（はくさんし））

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**ジビエを始点に 里山の多様な仕事を束ねる 総合会社**

白山麓の自然豊かな山あいに、過疎・高齢化、獣害など里山が抱える課題の解決を目的に設立された里山総合会社「山立（やまだち）会」（「山立」は地元の言葉で「猟師」）。シカやイノシシ肉を活用した**ジビエ事業**、廃業危機にあった**地場特産の大型なめこ生産の継承**、**耕作放棄地での羊放牧**、**古民家を改修した「山立会食堂」**の運営など、多様な事業を相互に組み合わせつつ展開。**地域に眠る資源・人材、地域の困り事ごとも新たな価値へと結び付けつつ**、里山の営みを次世代へつなぐ取組を進めている。

●選定理由●　**里山の未来を見据えた 課題を資源へと転換することでの 持続可能性へ挑戦**

本活動の注目点は、地域課題の解決自体にとどまらず、その解決を支える仕事や人の流れを生み出していることにある。託されたなめこ事業の継承、獣害対策、耕作放棄地活用など、**「誰かがやらなければ地域が困る仕事」を引き受け**、それらの負担となりがちな課題を新たな価値へと転換する手立てを一つひとつ切り拓いてきた。さらに、個々の利益最大化ではなく、里山の営みを次世代へ繋ぐことを目標に事業を組み合わせ、住民や大学、企業、地域外の人々との協働を広げながら、小さな集落を起点に地域の将来像を描くことにも参画し、実践へと移しており、**持続可能な地域経営を目指して挑戦を積み重ねている過程そのものに価値がある**。その志と実践力、そして地域からの信頼。その結果として課題の解決を着実に積み上げている点は、多くの地域に希望を与えるものといえる。

■問合せ先■　白山市　企画振興部　協働推進課　☎ 076-274-9517（課直通）



山立会食堂は交流拠点にも



地域の課題解決に資する
獣害対策の狩猟研修

「地域維持レスキュー®」（和歌山県有田川町（ありだがわちょう））

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**地域の「助けて」から始まったレスキュー活動：「助けて」を共助で**

移住・定住・地域活性化に取り組む法人「しろにし」は、収穫期の人手不足に悩むぶどう山椒農家を**地域内外の参加者が支える「ぶどう山椒収穫レスキュー」**を開始。その後、活動は文化財修復を支える茅刈りや道普請などへ発展。**地域の困りごとを隠さず発信**し、共感した地域外の人々の参加を次の参加を促す取組を体系化し「**地域維持レスキュー®**」とし展開。当初は域外参加者が中心だったが、活動を通じ地元住民の参加も増え、**茅刈りでは参加者の多くを地元住民が占めるまでに発展**。

地域課題の解決と関係人口の創出に加え、地域づくりを担う内外の**新たな共助の輪**を育んでいる。

●選定理由●　**内と外が相互に刺激し合った協働で、新たな展開や価値が生まれている**

本事例の大きな注目点は、地域課題の解決に必要な人材を外部に求めただけでなく、その展開で地域住民自身の参画者も増大した点にある。外の人の参画が楽しさや地域の価値を思い出させ、結果、地域の担い手不足や文化財保全といった**課題が、地域内外の多様な主体をゆるやかに結び付け**、新しい協働の姿をみせつつある。**「関係人口は、地域の中にもある」**という逆転の発見をした思い。信頼関係を丁寧に積み重ねながら共助の輪を育む実践は、人口減少下における地域課題解決と地域維持を結びつける有効なモデルとして注目したい。

■問合せ先■　有田川町　産業振興部　商工観光課　☎ 0737-22-4506（課直通）



ぶどう山椒収穫レスキュー



ススキを刈る茅刈りレスキュー参加者
地元参加者が８割の高率に

全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞（二地域居住等の促進の観点で優れた取組） １事例

三島信用金庫　合同会社うさぎ企画（静岡県三島市（みしまし））

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**地域金融機関を核とした「官・金・民」連携で 二地域居住者の役割と居場所を創出**

地域金融機関である信用金庫と、地域と都市部人材をつなぐ民間事業者とが、行政や地域企業等と連携し、二地域居住者や複業人材が地域で継続的に活躍できる人材定着基盤の構築に取り組んでいる。地域企業との仕事づくりや副業・起業支援に加え、住まい探しやコミュニティとの接続、地域活動への参画機会を総合的に提供。さらに地域の「**困りごと**」と二地域居住者等の「**できること**」を結び付ける「**ギブ＆テイクボード**」を活用し、地域と人材双方を丁寧に橋渡ししている。

地域に深く根差した信用金庫ならではの信頼とネットワークを活かし、移住者や二地域居住者一人ひとりに地域での役割と居場所を生み出し、企業や地域の新たな担い手の創出につなげている。

●選定理由●　**二地域居住者に役割と居場所を生み出し 地域の担い手へ育てる伴走型支援**

官・金・民の強みを活かした二地域居住推進モデル本取組の注目点は、移住か非移住かの二択ではなく、二地域居住や複業など多様な地域との関わり方を受け入れながら、人材の定着と活躍を支援している点にある。とりわけ、地域金融機関が中核となることで高い信頼性と継続性を確保し、行政、企業、地域住民を有機的につなぐ官・金・民連携を実現している。また、地域との接点づくりから役割の創出、定着後の活躍までを見据えた伴走支援は、単なる人材確保策を超えた地域づくりの実践といえる。三島・長泉・箱根をまたぐ広域的な取組は、東京近郊地域における新たな二地域居住促進モデルとして、多くの地域への示唆に富むものとして高く評価できる。

■問合せ先■　三島市　企画戦略部　政策企画課　☎ 055-983-2698（課直通）



複業人材をマッチング



ニーズとシーズとをを結ぶ
「ギブ＆テイクボード」

国土計画協会会長賞　（国土づくり・地域づくりの観点から注目された取組）　１事例

青海ボランティア隊（愛知県常滑市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**次代へ リアルな つながりなおしで 地域を動かす**

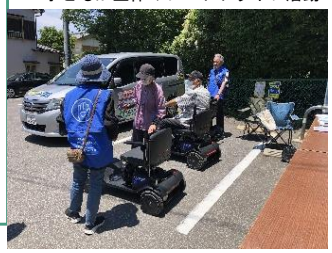
青海ボランティア隊は、人口減少と高齢化が進み、移動手段や地域の支え合いの維持が課題となっている地区の住民組織。 高齢者の生活のための移動を支援する**無料住民バス**、**電動小型モビリティ**活用、**海岸美化**、**子どもフードドライブ**、**草刈り**などの活動を展開し、暮らしの困りごとを住民同士で補い合う仕組みを構築。特徴は、福祉、交通、環境、子ども支援等の地域課題を、個別事業としてではなく**一体的に**推進し、地域の**つながりと担い手**を育てながら、持続可能な地域運営を目指している。



子どもが主体のフードドライブ活動

●選定理由●「すべき・したい・できる」を大切にした 主体性を引き出す 地域共助の実践

多くの団体が清掃や見守りなど地域課題に**個別に**対応している一方で、**本組織では総合的・連関的な取組**で、**課題解決と人材育成を一体化**している点に注目したい。活動全般においてサービス提供で終わらせず、幅広い世代が関わり、「支える側」「支えられる側」の壁を越え共に成長する機会を視野に入れている。**活動する一人一人が主役になり、「すべき」「したい」「できる」の3つの動機が重なるベストなモチベーションをつくり、地域へ広げる「つながりなおし」が重要**との理念も素晴らしい。地域課題への対応を、個々ではなく総合的に相互連携しつつ取り組み、更に**支え手のやる気や個性を活かすことで意欲ある担い手を育み**、住民主役で課題解決を図ることは、地域運営の持続可能性を高めている。


電動小型モビリティとバスの試乗会

■問合せ先■　常滑市　市民生活部　市民協働課　　☎ 0569-47-6108（課直通）

日本政策投資銀行賞　（地域経済･産業振興上注目された取組）　１事例

水没林ワーキング（山形県飯豊町）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**地域の貴重な景観資源 白川湖 水没林の絶景を「守り」「稼ぐ」**

白川湖の水没林は、春の雪解けの一時期にだけ現れる幻想的な景観としてSNSで全国的な人気を集める一方で、路上駐車や交通渋滞、湖岸環境への負荷、ゴミ問題などが発生し、地域住民の暮らしの安心との両立が課題に。そこで問題解決のため、地域住民、観光事業者、行政等が「**水没林ワーキング**」を組織し、観光客の抑制ではなく、来訪者とともに景観を守り育てる方向へ発想を転換。

カヌーツアーの仕組み化や利用のルール整備、クリーンアップ活動、駐車協力金や湖面利用協力金を導入し、さらに、その収益を環境整備や受入環境の改善へ再投資することで、**弊害を抑制し「守る」と「稼ぐ」を両立する**地域経営を展開している。


カヌー体験で絶景を楽しむ観光客

●選定理由●　**オーバーツーリズムを「地域の災害」から「地域の資産」へ転換し高付加価値化**

突然の人気観光地化によって生じた渋滞等の問題を、**抑制・規制でなく**、積極的なマネジメントにより、**地域の新たな稼ぐ力**へ転換した点に注目。来訪者を**地域資源保全の協力者**と再定義し、協力金を景観保全や受入環境整備へ還元することで正の循環を構築。更にカヌー体験、アート等のイベント、飲食・物販など地域の事業者や起業者との連携を進め、「突然湧き上がった静的な景勝地」から、地域経済を支えるアクティビティを伴う**持続可能な参加型・動的な観光地**へと発展させた。

観光振興、自然保全、住民生活、地域経済を同時に成立させたこの事例は、SNS時代の突発的な観光公害に悩む各地に実践的な処方箋の1つを提示していると言え、各地の参考となる。


景観保全のため地元有志が雑木の伐採
折れ枝はエコサウナの薪木に再利用

■問合せ先■　飯豊町　商工観光課　観光交流室　　☎ 0238-87-0523（直通）

地域づくり表彰審査会 特別賞　（企業との連携・学校再開による離島活性化）　１事例

広島地区活性化協議会（香川県丸亀市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**子どもの声を取り戻した 島民主体の離島の再生活動**

人口減少・高齢化で地域コミュニティの存続に危機感を抱いていた離島3島で、元気な高齢者を中心に活性化協議会を設立。古民家を活用した農泊事業を出発点に、地域再生に共感する民間企業や行政との協働で、「**3つの島の未来航路共創プロジェクト**」を推進。島の玄関口の**待合所の再生**、**日本遺産を活かした観光振興**、空き家を活用した移住促進などを展開。4年間に島の人口の1割にあたる20人もの移住を実現。約15年ぶりの小中学校再開以降は、地域住民や移住者、企業社員、子どもたちが一体となって地域行事や小麦の収穫体験、うどん教室が行われるなど、島ぐるみで次世代を育む環境が構築され、再び子どもたちの声が響く島となりつつある。


久々に子どもたちの声が響く運動会

●選定理由●　**子どもゼロの島から 子ども2桁の島へ：結実した地域ぐるみの未来づくり**

高齢化率8割という厳しい状況で、住民が主導し、農泊、交流拠点、雇用創出など、島の将来を支える基盤づくりを着実に進め、その成果として、移住者を得て、その移住者が地域活動や島の担い手となり、企業や行政との信頼関係も深化。こうした積み重ねが、小中学校の再開という大きな決断を促したことは大きな驚きがある。 さらに、学校再開後、移住者や企業人材等も行事や子育て環境づくりにも関わり、地域住民とともに次世代を育む共同体が形成されつつあることは、離島の生活圏を再生しようとする貴重な実践例として、多くの地域に希望と示唆を与えるものと言え、特別賞としたものである。


移住者も担い手側となった盆踊り大会

■問合せ先■　丸亀市　協働推進部　地域づくり課　離島振興室　☎ 0877-24-8853（室直通）

別添資料4

地域づくり表彰受賞事例　［　都道府県別　］

※（　）内の年度の数字は、「５９～６３」は昭和。「元～３１」は平成、「R」は令和を表す。

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
北海道	・ ポートフェスティバル実行委員会（小樽市・元年度） ・ 市民創作「函館野外劇」の会（函館市・3年度） ・ 士別サフォーク研究会（士別市・5年度） ・ 昭和新山国際雪フェスティバル実行委員会（壮瞥町・7年度） ・ 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ実施委員会の企画50人委員会（洞爺村・１１年度） ・ トロッコ王国美深の会（美深町・１３年度） ・ 北海道北オホーツクの大自然で学ぶ会（浜頓別町・１４年度） ・ 小樽職人の会（小樽市・１６年度） ・ 国際家具デザインフェア旭川開催委員会（旭川市・１６年度） ・ 長沼町グリーン・ツーリズム推進協議会（長沼町・２０年度） ・ 保育園留学推進協議会（厚沢部町・R５年度） ・ 共助型困りごと解決サービス「ミーツ」（厚真町・R６年度） ・ MOTレール倶楽部（網走市・R７年度）	・ 南茅部沿岸漁業大学（南茅部町・６１年度） ・ 陸別商工会青年部（陸別町・６２年度） ・ 置戸町商工会青年部（置戸町・６３年度） ・ 江差地域大学（江差町・４年度） ・ 北竜町（北竜町・6年度） ・ 日本海オロロンラインウルトラアスロン国際大会実行委員会（留萌管内・９年度） ・ 北海道漁協婦人部連絡協議会（札幌市・１０年度） ・ 認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト（浜中町・１９年度） ・ 小樽雪あかり路実行委員会（小樽市・２２年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 美幌ブランド開発検討委員会（美幌町・２６年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 富良野オムカレー推進協議会（富良野市・２８年度） ・ 江差町歴まち商店街協同組合（江差町・２８年度） ・ まっかり温泉スリッパ卓球実行委員会（真狩村・３０年度）※特別賞 ・ 鹿部町製品開発研究会（鹿部町・R元年度）
青森県	・ 板柳町（板柳町・5年度） ・ プロジェクトおおわに事業協同組合（大鰐町・２８年度）	・ 岩木町農業協同組合婦人部「ふるさとの味をつくる会」（岩木町・６０年度） ・ 山形地区住みよい環境推進協議会（黒石市・６３年度） ・ 岩木３・６・１の会（岩木町・2年度） ・ ラブリーさい販売事業協議会（佐井村・3年度）
岩手県	・ 田野畑村（田野畑村・６１年度） ・ 遠野市及び遠野物語ファンタジー制作委員会（遠野市・元年度） ・ 藤沢野焼祭実行委員会（藤沢町・１１年度） ・ 展勝地がいあ市「バザール街道１０７」実行委員会（北上市・１２年度） ・ まぶりっと衆・早池峰の会（遠野市・１８年度）	・ （社）岩泉町産業開発公社（岩泉町・4年度） ・ 全国太鼓フェスティバル実行委員会（陸前高田市・7年度） ・ あやおり夢を咲かせる女性の会（遠野市・１５年度） ・ しずくいし軽トラック市実行委員会（雫石町・２３年度） ・ 株式会社キャッセン大船渡（大船渡市・３０年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 全国地ビールフェスティバル一関実行委員会（一関市・R３年度）
宮城県	・ （財）地域産業創造センター（大崎、栗原地域・５９年度） ・ みやぎ北上連邦協議会（登米町、東和町、中田町、津山町・６３年度） ・ 市民フォーラムを進める会（気仙沼市・２年度） ・ 七ヶ宿町（七ヶ宿町・4年度）	・ 特定非営利活動法人NPOみなとしほがま（塩竈市・２１年度）

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
秋田県	・ 能代ミュージカル制作委員会 （能代市・4年度） ・ わらび座（田沢湖町・7年度）	・ 狙半内地域センター運営協議会 （横手市・２９年度）
山形県	・ 最上定住圏づくり推進委員会（最上・６２年度） ・ 最上広域市町村圏事務組合・国際交流センター（最上地域・6年度） ・ 長井市レインボープラン推進協議会（長井市・１２年度） ・ 金山町（金山町１５年度） ・ 清流と山菜の里 ほその村（尾花沢市・Ｒ４年度）	・ 三川トピア創造委員会（三川町・9年度） ・ アジア国際音楽祭 in しらたか実行委員会 （白鷹町・１０年度） ・ ﾌﾙｰﾂﾀｳﾝ直売施設運営管理組合　愛称「あぐり」 （櫛引町・１４年度） ・ 水没林ワーキング（飯豊町・Ｒ８年度） ※日本政策投資銀行賞
福島県	・ 協同組合　会津復古会（会津若松市・8年度） ・ 浪江焼麺太国（浪江町・２６年度）	・ 三島町（三島町・６０年度） ・ (有)ふるさとのおふくろフーズ(葛尾村・１７年度) ・ 塙町ふるさと産業おこし連絡協議会（塙町・２３年度） ・ 特定非営利活動法人ハッピーロードネット（広野町・３０年度） ・ 株式会社　元気アップつちゆ（福島市・Ｒ３年度） ※日本政策投資銀行賞
茨城県	・ 取手アートプロジェクト実行委員会（取手市・１８年度）	・ 木の文化塾（大子町・１５年度） ・ 河内の文化遺産を守る会（常陸太田市・２５年度）
栃木県	・ 栃木［蔵の街］音楽祭実行委員会 （栃木市・8年度） ・ 那須まちづくり株式会社（那須町・Ｒ２年度）	・ 足利・名草ふるさと自然塾運営協議会 （足利市・２４年度） ・ 真岡まちづくりプロジェクト（真岡市・Ｒ４年度） ・ 一般社団法人 釜川から育む会 （宇都宮市・Ｒ６年度）※特別賞
群馬県	・ 沢田農業協同組合（中之条町・１０年度）	・ 利根沼田郷土の芸能祭実行委員会（優良賞） （群馬県 利根沼田広域市町村圏・５９年度） ・ 高崎映画祭事務局（高崎市・9年度） ・ 桐生からくり人形保存会（桐生市・１９年度） ・ 昭和村さくら工房（昭和村・２６年度）
埼玉県		・ 埼玉交響楽団（熊谷市・3年度） ・ 浮野の里・葦の会（加須市・１０年度） ・ 合同会社 暮らしの編集室（北本市・Ｒ４年度） ・ 行田市 及び 一般社団法人 行田おもてなし観光局「行田花手水 week 及び 希望の光」 （行田市・Ｒ５年度）※日本政策投資銀行賞 ・ 3X3 KUKI 実行委員会（久喜市・Ｒ６年度）※日本政策投資銀行賞 ・ Shingashi めぐり・わくわくフェスティバル実行委員会（川越市・Ｒ６年度）※特別賞 ・ 新井宿駅と地域まちづくり協議会 （川口市・Ｒ７年度）※特別賞

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
千葉県	・ 特定非営利活動法人　小野川と佐原の町並みを考える会（佐原市・１７年度） ・ 特定非営利活動法人まちおこし佐原の大祭振興協会（香取市・２１年度） ・ ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら（市原市・Ｒ８年度）	・ 市東地域 １５町会 共創プロジェクト （市原市・Ｒ７年度）※特別賞
東京都	・ 名橋「日本橋」保存会（中央区・１５年度） ・ ハッピーロード大山商店街振興組合 （板橋区・１９年度）	・ 世田谷区（世田谷区・2年度） ・ 青梅宿アートフェスティバル実行委員会（青梅市・１２年度） ・ 向島博覧会実行委員会（墨田区・１３年度） ・ みたか太陽系ウォーク実行委員会（三鷹市・R元年度）※特別賞
神奈川県		・ 片浦レモン研究会（小田原市・１８年度） ・ 大磯市実行委員会（大磯町・２５年度）
新潟県	・ 佐渡國鬼太鼓 in 原宿実行委員会 （佐渡島・5年度） ・ 特定非営利活動法人ながおか生活情報交流ネットそいが（長岡市・１９年度） ・ 大地の芸術祭実行委員会 （十日町市・２２年度） ・ 株式会社　ＴＲＥＥ（三条市・Ｒ５年度）	・ 柏崎演劇団体連絡会（柏崎市・１６年度） ・ 赤城コマランド（長岡市・１８年度） ・ 小千谷闘牛振興協議会（小千谷市・２０年度） ・ 一般社団法人　高根コミュニティラボわぁら（村上市・Ｒ２年度） ・ シルバーふれあいサロン やまゆり（柏崎市・Ｒ３年度）※国土計画協会会長賞 ・ 「まちあそび」と「まちこらぼ」で取り組むゆるいまちづくり（燕市・Ｒ６年度）
富山県	・ 利賀村及び（財）国際舞台芸術研究所 （利賀村・元年度） ・ 越中野外音楽劇団（高岡市・6年度）	・ となみ少年国際交流推進協議会 （砺波市及び圏域5町4村・2年度） ・ いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会 （井波町・１１年度） ・ 城端水車の会（城端町・１２年度）
石川県	・　（株）香島津（七尾市・9年度） ・ 春蘭の里実行委員会（能登町・２３年度） ・ 能登丼事業協同組合（珠洲市・３０年度）	・ 横山振興会（珠洲市・２０年度） ・ 能美市商工女性まちづくり研究会（能美市・２９年度）※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 白山瀬波の会（白山市・Ｒ７年度）※国土計画協会会長賞 ・ 山立会（白山市・Ｒ８年度）

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
福井県	・　一般社団法人三國會所（坂井市・２９年度） ・　ＲＥＮＥＷ実行委員会（鯖江市・Ｒ２年度）	・　源氏物語アカデミー委員会（武生市・８年度） ・　東郷ふるさとおこし協議会（福井市・２２年度） ・　竹田の里づくり協議会（坂井市・２７年度） ・　あわら湯けむり創生塾（あわら市・２８年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・　近松の里づくり事業推進会議（鯖江市・２８年度） ※特別賞 ・　鯖江市役所ＪＫ課（鯖江市・３０年度） ・　特定非営利活動法人今庄旅籠塾 （南越前町・Ｒ元年度）※国土計画協会会長賞
山梨県	・　ポールラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～実行委員会（高根町、長坂町、大泉村、小淵沢町・３年度）	
長野県	・　人形カーニバル飯田実行委員会 （飯田市・６３年度） ・　全国短歌フォーラム実行委員会 （塩尻市・４年度） ・　野沢温泉村（野沢温泉村・１０年度） ・　（財）大鹿歌舞伎保存会（大鹿村・１５年度） ・　諏訪アライアンスプロジェクト さいか （下諏訪町・２４年度） ・　塩尻Ｌａｂ（塩尻市・Ｒ７年度）	・　ふるさと探訪実行委員会（優良賞） （飯伊広域市町村圏・５９年度） ・　信濃木崎夏期大学（大町市・１２年度） ・　ひさかた風土舎（飯田市・１３年度） ・　ネバーランド株式会社（根羽村・２２年度） ・　新山定住促進協議会（伊那市・２９年度） ・　かまくら応援隊（飯山市・Ｒ元年度） ・　おしゃれ田舎プロジェクト（小諸市・Ｒ５年度）
岐阜県	・　東美濃高原開発推進協議会 （東美濃高原地域・３年度） ・　国際陶磁器展美濃開催実行委員会 （多治見市、瑞浪市、土岐市、笠原町・５年度） ・　飛騨高山観光協会（高山市・１４年度） ・　有限責任中間法人明宝（郡上市・２０年度）	・　中山道若衆会（美濃加茂市・元年度） ・　白川郷荻町集落の自然環境を守る会 （白川村・８年度） ・　美濃和紙あかりアート展実行委員会（美濃市・２１年度）※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・　神明大杉再生検討会議（瑞浪市・Ｒ５年度）
静岡県	・　東遠地域経済研究会（東遠地域・６１年度）	・　清水港・みなと色彩計画推進協議会（静岡市・２３年度） ・　大道芸ワールドカップ実行委員会（静岡市・２６年度）※特別賞 ・　アカリノワ（静岡市・Ｒ２年度） ・　三島信金・うさぎ企画（三島市・Ｒ８年度） ※全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞
愛知県	・　ＡＴ２１倶楽部（豊田市・１８年度）	・　あいちの山村都市交流事業実行委員会 （三河山間地域・６１年度） ・　蜻蛉（せいれい）の会（大府市・１４年度） ・　島を美しくつくる会（一色町・１５年度） ・　島を美しくつくる会（西尾市・２４年度） ※２４年度は日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・　岩屋緑地に親しむ会（豊橋市・２６年度） ・　ＣＨＩＴＡ ＣＡＴ プロジェクト（常滑市・Ｒ元年度）※特別賞 ・　青海ボランティア隊（常滑市・Ｒ８年度） ※国土計画協会会長賞

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
三重県	・ 南伊勢町 二地域居住推進チーム （南伊勢町・Ｒ８年度）	・ あいの会「松坂」（松阪市・６２年度）
滋賀県	・ 高島町（高島町・６２年度） ・ 「博物館都市構想」を推進する一連の活動体 （長浜市・元年度）	・ 特定非営利活動法人蒲生野考現倶楽部 （日野町・１９年度）
京都府	・ 大江町（大江町・７年度）	・ 加悦町染色センター運営委員会（加悦町・６３年度） ・ 網野ふるさと塾（網野町・元年度） ・ まいづる２１世紀委員会（舞鶴市・６年度） ・ 美山町（美山町・１６年度） ・ 特定非営利活動法人　地球デザインスクール（宮津市・１７年度） ・ 水源の里連絡協議会（綾部市・２５年度） ・ 京田辺 農福観 地域づくり協議会（京田辺市・Ｒ７年度）
大阪府		・ 枚方宿地区まちづくり協議会（枚方市・１７年度） ・ みせるばやお（八尾市・Ｒ２年度） ※日本政策投資銀行賞
兵庫県	・ （財）丹波の森協会（丹波地区・９年度） ・ 生野町（生野町・１６年度）	・ 加美町（加美町・１１年度） ・ 特定非営利活動法人　あわじ緑花協会 （洲本市・１４年度）
奈良県	・ 吉野 山灯り 実行委員会（吉野町・１３年度） ・ なら燈花会の会（奈良市・１４年度）	・ 川上村（川上村・２年度） ・ 天の川実行委員会（高取町・２７年度）
和歌山県	・ 北山村（北山村・１５年度）	・ イノブタダービー実行委員会（すさみ町・６年度） ・ くどやま芸術祭実行委員会（九度山町・Ｒ７年度） ※日本政策投資銀行賞 ・ 地域維持レスキュー®（有田川町・Ｒ８年度）
鳥取県		・ 八東町高校生サークル「アウトロー」 （八東町・４年度） ・ 高橋孝一とロマンティック街道３１３連絡協議会 （北条町、倉吉市、関金町・７年度） ・ 特定非営利活動法人 未来（倉吉市・２４年度）
島根県	・ （株）吉田ふるさと村（吉田村・６２年度） ・ 仁摩町シルバーランド計画推進協議会 （仁摩町・３年度） ・ サウンドファイブ夢の音会 （金城町・１３年度） ・ 萩の会（益田市・１７年度） ・ 八雲国際演劇祭実行委員会 （松江市・１８年度）	・ 三隅町（三隅町・８年度） ・ 大東国際文化交流協会（大東町・１２年度） ・ 隠岐FM　PAOPAO（西郷町・１４年度）

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
岡山県	・ 津山城東むかし町実行委員会 （津山市・１７年度） ・ ＮＰＯ法人かさおか島づくり海社 （笠岡市・１９年度）	・ 津山広域事務組合（会長賞）（津山市・５９年度） ・ 津山国際総合音楽祭委員会（津山市・５年度） ・ 高橋孝一とロマンティック街道３１３連絡協議会 （2市１２町5村・7年度） ・ 百姓王国（吉備中央町・１６年度） ・ 矢掛の宿場まつり大名行列実行委員会 （矢掛町・３０年度）※特別賞 ・ 倭文西まちづくり協議会（美咲町・Ｒ５年度） ※国土計画協会会長賞 ・ 下津井シービレッジプロジェクト （倉敷市・Ｒ６年度）
広島県	・ 藻塩の会（蒲刈町・１２年度） ・ 横川商店街振興組合・横川商店街連合会（広島市・１６年度）	・ 高橋孝一とロマンティック街道３１３連絡協議会 （福山市、神辺町・7年度） ・ 庄原市高野地域づくり未来塾（庄原市・２７年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 一般社団法人　ふるさと楽舎（広島市・Ｒ４年度） ※特別賞
山口県		・ とってもゆかいな秋吉台ミーティング （秋芳町・１１年度） ・ 壺まつり実行委員会（防府市・２２年度） ・ 特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ （山口市・R元年度） ・ ささラブ応援隊（萩市・Ｒ４年度） ※国土計画協会会長賞
徳島県	・ 特定非営利活動法人　アクア・チッタ （徳島市・Ｒ５年度） ・ さかもと元気ネットワーク （勝浦町・Ｒ６年度）	・ 阿波人形浄瑠璃「勝浦座」（勝浦町・１８年度） ・ うだつの土曜祭実行委員会（つるぎ町・２０年度） ・ 一般社団法人そらの郷（三好市・３０年度） ・ 海部次世代園芸産地創生推進協議会（海陽町・R元年度）※日本政策投資銀行賞 ・ 大歩危リバーフェスティバル実行委員会 （三好市・Ｒ２年度）※特別賞 ・ 特定非営利活動法人　美郷宝さがし探検隊 （吉野川市・Ｒ４年度）※特別賞
香川県	・ 四国こんぴら歌舞伎大芝居推進協議会 （琴平町・2年度）	・ ふるさとの家（東かがわ市・１８年度） ・ 四海漁業協同組合（土庄町・Ｒ２年度）※特別賞 ・ 広島地区活性化協議会(丸亀市・Ｒ８年度)※特別賞
愛媛県	・ 双海町（双海町・9年度） ・ 三津浜地区にぎわい創出実行委員会 （松山市・Ｒ３年度） ・ せとうち みなとマルシェ実行委員会 （今治市・Ｒ７年度）	・ 四国タオル工業組合（今治市・２３年度） ※日本政策投資銀行賞のみの受賞 ・ 松山離島振興協会（松山市・２５年度） ・ 特定非営利活動法人　俳句甲子園実行委員会 （松山市・２８年度）
高知県	・ 中川をよくする会（土佐山村・１６年度） ・ 特定非営利活動法人日高わのわ会（日高村・R元年度）	・ ボランティアグループあかつき会 （南国市・１０年度） ・ 四万十町十和おかみさん市（四万十町・２１年度） ・ 特定非営利活動法人 土佐の森・救援隊／木の駅ひだか（日高村・Ｒ２年度）※国土計画協会会長賞

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
福岡県	・ 若松で音楽を聴く会（北九州市・２０年度） ・ ＮＰＯ法人久留米ブランド研究会 （久留米市・２７年度）	・ 南丘コミュニティ委員会（北九州市・７年度） ・ アフリカ教育基金の会（北九州市・９年度） ・ 久山町（久山町・Ｒ４年度）※日本政策投資銀行賞 ・ 快生館（古賀市・Ｒ７年度）※全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞
佐賀県	・ 唐津市高島開発組合（唐津市・６年度） ・ 春日活性化委員会（嬉野市・Ｒ３年度）	・ フォーラム鹿島（鹿島市・６３年度） ・ 小城源氏ボタル保存会（小城町・３年度） ・ 佐賀バルーンフェスタ組織委員会（佐賀市・８年度） ・ 肥前町国際交流協会（唐津市・１７年度） ・ 恵比須ＤＥまちづくりネットワーク（佐賀市・２５年度）※日本政策投資銀行賞のみの受賞
長崎県	・ 大島町（大島町・６１年度） ・ 伊王島町（伊王島町・２年度） ・ 厳原港まつり “対馬アリラン祭”振興会 （厳原町・１０年度） ・ 一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社 （東彼杵町・Ｒ４年度） ・ Sasebo Change（佐世保市・Ｒ８年度）	・ 鷹島町（鷹島町・５年度） ・ させぼ塾（佐世保市・１１年度） ・ 南島原市冬のお祭り実行委員会 （南島原市・２４年度） ・ DEJIMABASE（長崎市・Ｒ３年度）※特別賞 ・ 松浦市（松浦市・Ｒ３年度）※特別賞 ・ 「島の人をつなぐ」＝奈留まち協もやい場 （五島市・Ｒ６年度）※国土計画協会会長賞
熊本県	・ 熊本市南部地区市民の会（熊本市・７年度） ・ 山北幸と下村婦人会（湯前町・８年度）	・ （社）熊本県青年塾（宇土市・５年度） ・ （財）学びやの里（小国町・１０年度） ・ 宮原町（宮原町・１５年度） ・ ㈱福田農場ワイナリー（水俣市・１６年度） ・ （財）清和文楽の里協会（三都町・１９年度） ・ 美里フットパス協会（美里町・２６年度） ・ 風の会（宇城市・２９年度） ・ 小岱山薬草の会（玉名市・３０年度）
大分県	・ 竹田市観光協会（竹田市・１７年度） ・ 別府八湯ウォーク連絡協議会 （別府市・２０年度）	・ 日本童話祭執行委員会（玖珠町・６０年度） ・ 大分川流域ヘルシー観光事業連盟 （野津原町、狭間町、庄内町、湯布院町、直入町・元年度） ・ グループこすもす（杵築市・３年度） ・ 郷土の文化と国際交流を考える会（大分市・４年度） ・ 大分方言弁論大会実行委員会 （豊後高田市・５年度） ・ 安心院町グリーンツーリズム研究会 （安心院町・１３年度） ・ パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会（豊後高田市・Ｒ３年度）※特別賞
宮崎県	・ （社）都城市北諸県郡医師会 （都城市及び北諸県郡・６０年度） ・ 小川作小屋村運営協議会 （西米良村・２５年度）	・ 南郷村（南郷村・６年度） ・ 本町研究会（日南市・７年度） ・ 花堂むらおこしグループ（高原町・９年度） ・ 山之口麓文弥節人形浄瑠璃保存会（都城市・２０年度） ・ 五ヶ村村おこしグループ（高千穂町・２１年度）

都道府県	国土交通大臣賞 （国土庁長官賞）	全国地域づくり推進協議会会長賞 （全国モデル定住圏整備推進会議会長賞）
鹿児島県	・　(財) からいも交流財団（鹿屋市・４年度） ・　三島カップヨットレース実行委員会 （三島村・６年度） ・　美山窯元祭り実行委員会 （東市来町・１１年度） ・　大隅の國やっちく松山藩 （志布志市・１９年度） ・　東シナ海の小さな島ブランド株式会社 （薩摩川内市・Ｒ６年度）	・　吹上浜砂の祭典実行委員会（加世田市・２年度） ・　ＮＰＯ法人頴娃おこそ会（南九州市・２７年度） ・　HUB a nice d!（瀬戸内町・Ｒ３年度） ・　長島町（長島町・Ｒ３年度）※特別賞 ・　「竹・福・商」連携による大崎町「竹の資源化」モデル（大崎町・Ｒ５年度）※特別賞
沖縄県	・　宮古広域圏事務組合 （1市3町2村・６３年度） ・　「ツール・ド・おきなわ」実行委員会 （名護市・８年度） ・　壺屋やちむん通り会那覇市・１１年度） ・　恩納村商工会（恩納村・１４年度）	・　中部広域市町村圏事務組合 （4市5町3村・６２年度）

※賞の改廃経緯

昭和59年度（第１回）～昭和63年度（第５回）までは「全国モデル定住圏整備推進会議会長賞」、
平成元年度（第6回）からは、「全国地域づくり推進協議会会長賞」に変更

省庁再編により、平成１３年1月６日から国土庁が国土交通省になったため、
平成１３年度（第１８回）から「国土庁長官賞」が「国土交通大臣賞」に変更

平成２１年度（第２６回）から「日本政策投資銀行賞」、
平成２６年度（第３１回）から「審査員特別賞」、
令和元年度（第３６回）から「国土計画協会会長賞」、
令和7年度（第４２回）から「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞」が、それぞれ創設。